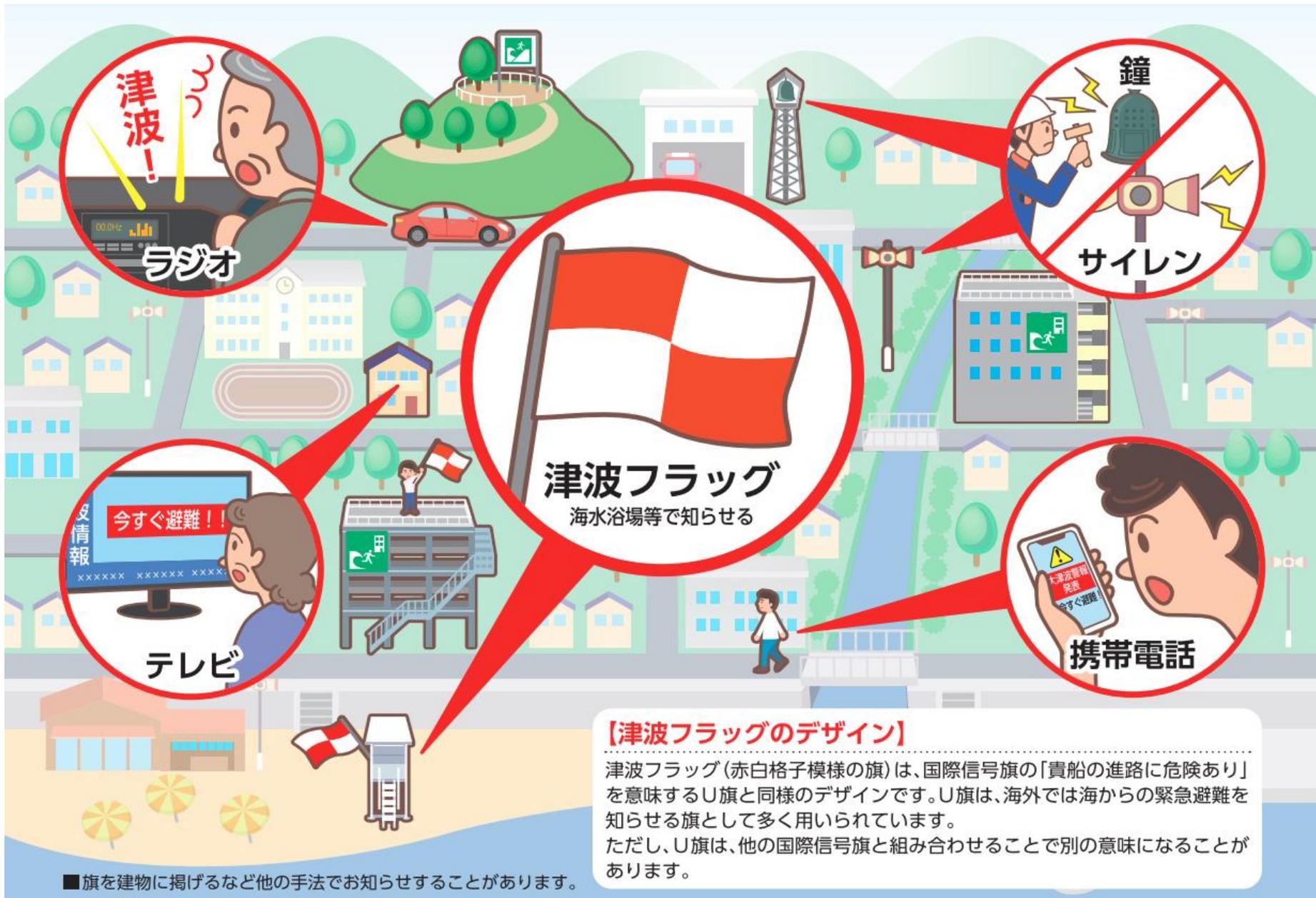


津波フラッグは避難の合図！

－ 津波警報を伝えるために－

札幌管区气象台 気象防災部
地震火山課 地震津波防災官
長谷川 洋平

津波警報・注意報は様々な手段で伝えます



津波フラッグ

- 津波警報等※が発表されたことを知らせる標識として令和2年6月に制定
(※大津波警報、津波警報、津波注意報)
- 聴覚に障害をお持ちの方、
波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方
などにも、津波警報等をお知らせできる
- 長方形を四分割した赤と白の格子模様。
縦横の長さや比率に決まりは無いが、遠くから
の視認性を考慮して短辺100cm以上を推奨
- 海岸にいるライフセーバー等が旗を振る、
海岸付近のビル等から垂らす、など



津波フラッグ制定の経緯

- 背景：東日本大震災における聴覚障害者の死亡率は健常者の約2倍（※NHKの東北3県沿岸被災自治体への調査結果による）
- 「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」（令和元年度）旗の視認性、色覚の多様性や外国人への配慮の観点などから、赤白の格子模様※の旗を提案
（※国際信号旗のU旗「貴船の進路に危険あり」と同じデザイン）



津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会
（令和元年10月～2年2月）



海水浴場で実施した旗の視認性の検証の様子

津波フラッグの普及に関する取り組み

• 広報用動画（YouTube公開）



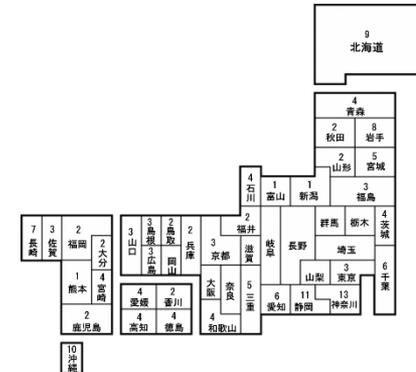
• 広報用ポスター、チラシ



• 津波防災オンライン連続講演会 「津波フラッグと津波から命を守るための基礎知識」



• 津波フラッグ導入市町村数調査



※海水浴場への導入済み市町村数（令和4年1月31日現在）

【参考】

【参考】平成5年（1993年）北海道南西沖地震

土砂災害



（札幌管区气象台「北海道の地震活動
（第3版）」より（北海道新聞社提供）

津波 火災



（阿部勝征氏（地震調査研究推進本部HPより））

【参考】北海道周辺の海域で発生した主な大地震

